

2022年9月7日第120回BABOK研究会議事録

PM学会中部支部

IIBA日本支部

1. 日時

2022年9月7日(水) 19:00～21:00

2. 場所

Zoom(Web会議システム)

3. 出席者

(敬称略順不同)

近藤、山本、小倉、中村、浜口、新谷、鈴木(記) 以上7名

4. 議題

(1)活動方針に沿った研究会活動

5. 議事

(1)活動方針に沿った研究会活動

前回の研究会で、モデル製造業の課題について、「価値は何か」から再検討する必要があり、そのため、まずはニーズを洗い出すことが宿題となっていた。中村氏の説明によれば、ニーズの洗い出しは思わしくなく、要因として状況の変化が起きているとのこと。該当製造業では、第三者機関による調査の結果、品質不適切事案の対応策として、PMO設置の動きになっている。

PMO設置という動きは、大規模プロジェクト失敗の対策として、ひとまず収益管理を徹底するという、経営企画の方針とマッチしていて、このまま進む可能性が高い。この動きに対して、中村氏は、一過性の活動でお茶を濁すのではなく、社内にPMBOK、BABOKを全面適用しなければ、根本的な解決にならないと進言しているが、難航している。

研究会メンバーから、大規模プロジェクト失敗の根本要因は何か、また、品質不適切な根本要因は何か、製造業内で追及され、フィードバックされているかの質問があった。

中村氏によれば、大規模プロジェクト失敗の原因追及は、都度なされているが、仕組み上現場レベルでクローズし、深堀されていない。品質不適切な要因は、意図的な改竄などではなく、現場の検査基準が、法改正に対応できていないための漏れとのこと。そうであれば、問題はPMO設置云々以前の、プロセスの問題と思われる。

法改正対応の問題は、まさに社会の求める価値変化であり、ニーズが変わった事に対して、ソリューションが変わらなかったことに、原因が求められるのではないかと。大規模プロジェクトの失敗も、原因が上流や、価値変化にある場合、現場で追及は難しく、ニーズ

を明確にした上で、ソリューションの適合性を考えなければ、真の失敗原因にたどり着くことができない。やはり、ニーズを明確にするところから、始めるべきではないか。

研究会メンバーからは、まずは経営企画が、プロジェクトマネジメントガイドラインを作成することを支援しつつ、PMO導入によるPMBOKの適用を進めるという方法で、活動してはどうか。との提案があった。

中村氏は、大規模案件の失敗は、部分的な問題であって、PMBOK、BABOKが浸透していないことの方が大問題と捉えている。浸透していない組織にPMOを置いても、うまくゆかないと思っている。

浸透していない組織に対し、いきなりPMBOK、BABOKの導入を説いても、難しいと思われるので、せつかく経営企画に接点があったのであれば、作成しようとしているガイドラインに、PMBOK、BABOKの観点から、漏れている項目を追加させてはどうか。

ガイドライン作成で終わらせないため、作成後の運用も考えるよう、仕向ける。現状できていないと思われる、要求のトレーサビリティも、ガイドラインに入れれば良い。

可能であれば、経営企画のガイドラインの目次を入手し、BA的な観点で必要な項目を提案する。経営企画に正面から提案するのが難しければ、検討メンバー内で話しやすいメンバーにインフォーマルにぶつけてみる。

上記観点から、次の宿題はガイドラインの作成支援としてはどうか。他のメンバーはSLACKなどで、積極的に支援を行うので、都度質問や相談を投げてもらって構わない。

6. 次回予定

(1) 日程

10月5日(水) 19:00~21:00

(2) 場所

ZOOM会議室

<https://us02web.zoom.us/j/89941775085?pwd=Vxk5RjVWV05zd1VDS1BSbVU1WU9Cdz09>

ミーティングID: 899 4177 5085

パスコード: BABOK

(3) 議題

引き続き「戦略アナリシス」を検討する

7. 成果物

成果物は適宜、Slackで共有させていただきます。現在Slackに参加していない方で、共有を希望される方は、お申し出ください。

8. その他

質問事項や疑問点があれば、Slackの「[#2022年度研究活動](#)」に遠慮なく投稿をお願いいたします。アイデアや、意見など、思いついたことがあれば、そちらも遠慮なくお願いいたします。

—以上—